



小規模保育園 ななほしキッズ

ななほしだより



平成27年6月

梅雨の季節になりました。うっとうしい雨も子どもたちの植えた野菜の種には、恵みの雨。すくすく育ってくれることでしょう。

子どもたちは、園生活にも慣れて、しだいに自己発揮できるようになってきました。天気の良い日は、散歩に出かけ楽しく過ごしたいと思います。この時期は、疲れが出やすくなります。衛生面や体調管理には、十分気をつけましょう。



6月の行事予定

- 1日(月) 安全点検・エコ活動
- 3日(水) リズムあそび
- 8日(月) 身体計測
- 10日(水) リズムあそび
- 11日(木) 交通指導
- 17日(水) リズムあそび
- 19日(金) 避難訓練(火災)
緊急時対応訓練
- 24日(水) 保育参観

お知らせ・お願い

- ◎5月より天然酵母と国産小麦を使用した焼きたてのパンをおやつに食べています。
- ◎ぎょう虫・検尿の検査を予定しています。詳細は、後日お知らせします。
- ◎6月24日(水)は、保育参観です。日頃の園での子どもたちの様子をご覧下さい。
親子でさくらんぼリズムやわらべ歌あそびをして楽しく過ごしましょう。
- ◎工事中は、大変ご迷惑をおかけしました。
駐車場や砂場や花壇が出来ました。



花壇にしそやかぼちゃの種を蒔きました。大きくなるのが楽しみです。送迎の時のぞいてみて下さい。

先月、岩切杏子先生が来園され、わらべ歌や触れ合いあそびを教えてくださいました。子どもたちは、大好きな人たちに歌ってもらうことによって、嬉しく心地よくなり愛されていることを感じます。また、聴こうとする力も育ち、コミュニケーションの第1歩です。

足ぶらんこ (タマゲタ)

♪タマゲタ コマゲタ ヒヨリゲ タ
お父さんやお母さんの足の甲に
子どもが乗って前後左右にも
歩いてみましょう。





保育目標

- 一人一人の思いや欲求を受け止め、安心して過ごせるようにする。
- 梅雨期の保健衛生に留意し、健康で快適に過ごせるようにする。
- 梅雨期の自然事象や動植物の成長に触れ、不思議さ、おもしろさなどに興味をもつ。

☆☆☆5月のななほしキッズ☆☆☆

5月は一年の中でも過ごしやすい月ですね。
ななほしキッズのお友だちはたくさん散歩へ行きました。5/14(木)、こいのぼり遠足ではいつもの園周辺の散歩だけでなく、ちょっと足を延ばして大きな公園へ行きました。5/20(水)は『ななつぼし』列車を見に行き公園でお弁当を食べました。5/26(火)は清武の保育園で年長児にバイオリンの指導をしてくださる小八重先生宅へヤギを見に行きました。赤ちゃんうさぎを触ったり、クジャクを見たりしました。外の刺激は子ども達の成長にたくさんの栄養をくれます。これからは暑くなりますが、健康面に配慮しながらたくさん戸外であそばせていきたいと思います。



えほんの紹介

『はらぺこあおむし』

エリックカール/作

園長先生があおむしを持ってきてくれて、毎日その成長を楽しんで見えています。黒かったあおむしは緑色のあおむしになりました。たくさんのはっぱを食べ大きくなったあおむしがある日、さなぎになっていました。今はちょうになる日を楽しみに待っているところです。この絵本はまさに今子ども達の目の前で起きていることと同じ内容。何回読んでも最後、ちょうになるシーンでは「わあ」とキラキラした目で見えています。



○爪はのびていませんか？のびていると爪が欠けたり、ケガにつながる場合があります。こまめに確認して、切ってください。

○先日、歯科検診がありました。6/4は虫歯予防デーです。ご家庭でも、歯の大切さを話しながら少しずつ歯みがきに慣れていくようにしましょう。

○ケガ防止のため、サンダル、クロックス等ではなく、靴をはいて登園してください。



げんきだより

平成 27 年 6 月発行
清武社会福祉会

梅雨の季節になりました。湿度・温度ともに高くなり、また天気が変わりやすいこの時期は、体調を崩しやすい時期でもあります。

過ごしやすい環境作りに配慮し、毎日のお子さまのようすの変化に気を配っていきましょう。

6月4日は むし歯予防デー

歯みがきの習慣づけが、むし歯予防の第一歩。ご家庭でも、毎食後すぐに磨く習慣をつけ、必ず最後は大人が確認するようにしましょう。



正しく磨くための ポイント

- ブラシやグリップの形がシンプルで小さめの歯ブラシを使う。
- 磨く面に直角にブラシを当てる。
- ブラシは、柔らかい力で、できるだけ細かく動かす。



* ハブラシによる重大な事故につながらないように、お子様の歯みがきの際は必ず保護者の方が見守り、安全に使用しましょう。

夏に流行する感染症

夏に流行する感染症に、手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱（プール熱）があります。咽頭結膜熱はプールなどの機会が増えることで集団感染が発生しやすくなるため予防に努めましょう。

夏の感染症は、咳やくしゃみのしぶきや、便に含まれるウイルスが手やタオルを介して目や鼻、のどの粘膜に付着することで感染します。対策にはこまめな手洗いやうがい重要です。また、目やにや涙はティッシュペーパーでとるようにし、直接手が粘膜に触れないようにしましょう。



あせもを防ぎましょう

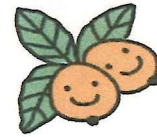
あせもは、おでこやひじ、首の周りなど、汗がたまりやすく、皮膚がこすれる場所にできます。アトピー性皮膚炎のある子は、症状が悪化することもあるので注意しましょう。

あせもを作らない 3つのポイント

- ① 薄着が基本
- ② 吸湿性のよい木綿の肌着を着る
- ③ 汗をかいたら着替える、タオルでふく、シャワーで流すなどして、常に肌を清潔に



6月食育だより



・何でも食べれるようになるために♪

①一緒に食べる。⇒家族や友達と一緒に食べることで、「食べてみようかな」と興味を持ち始めます。「おいしい」と食べる姿を見せることも大切です。

②一緒に料理する。⇒一緒に料理をすることによって、みんなで作って食べる喜びが味わえます。



③強制しない⇒嫌いな食べ物を強制されることで、「食事＝楽しくない」という思いを抱かせてしまいます。

④調理の工夫⇒生野菜に火を通す、好きな食べ物と一緒に混ぜるなど食べやすいように工夫しましょう。

⑤収穫の喜びを知る⇒野菜作りや収穫することで、作物を作る楽しさを知ることができます。

⑥離乳食からの基礎作り⇒離乳期から、様々な食材と出会わせることで、味覚の土台を広げることができます。



食育

保育園では、楽しい給食時間をすごすこと！苦手な食材は、一さじから少しずつ！
いずみっこ農園での栽培や収穫に関わりながら、食育活動をしています。



食中毒にご用心

夏は気温や湿度があり、食中毒が発生しやすい季節です。
行楽や行事の機会も増えますが、食中毒になってしまったら…。
せっかくの楽しいひとときが台なしにならないように、食中毒の
3つのポイントを紹介します。

ポイント1

食中毒の原因となる菌やウィルスを「つけない」
調理器具や食べ物に菌をつけないように、食事を作る
人も食べる人も、しっかり手洗いをするのが大切です。

ポイント2

菌やウィルスを「増やさない」
適切な温度で食品を管理・保管し、冷蔵庫からだしたら
早めに調理しましょう。作り置きも避けたいものです。

ポイント3

菌やウィルスを「やっつける」
ほとんどの菌やウィルスは熱に弱いので、食べ物の中心部
までしっかり火を通すことで死滅します。調理器具も熱湯
消毒したり、塩素系の漂白剤などで消毒すると効果的です。



旬の食材 トマト

「トマトが赤くなると医者が青くなる」ということわざがあるほど、
トマトは健康にいい野菜です。鮮やかな赤い色は、リコピンと
いう色素によるもの。
リコピンには抗酸化作用があり、老化防止やがん予防など、
多くの効果が期待できます。丸くて重みがあり、ヘタが緑色で
ピンとはっているものがよいとされています。



おやつをじょうずにとろう！

幼児期は活動量が多い発育期なので、たくさんの
栄養が必要です。捕食としておやつは欠かせない
物ですが、甘いお菓子を欲しがるときに与えたり、
静かにしてほしいからとだらだらたべさせたりすれば
食事の妨げになり、足りない栄養を補うものではなく
なってしまいます。おやつの量や内容、食べる時間
などを一度見直してみましょう。





(5月のメニュー)



5月8日誕生会メニュー

